■ デジタルものづくり対応支援事業
情報セキュリティ対策基礎講座（会員限定）

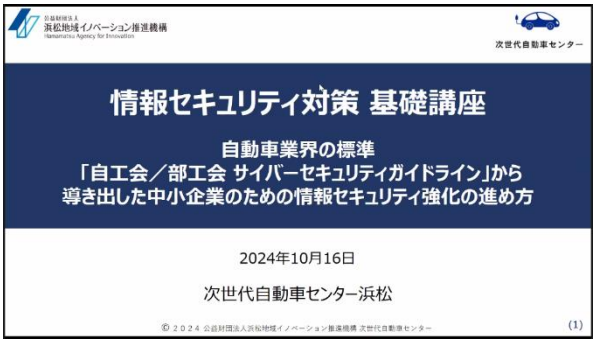
― 自動車業界の標準「自工会／部工会サイバーセキュリティガイドライン」から導き出した中小企業のための情報セキュリティ強化の進め方 ―

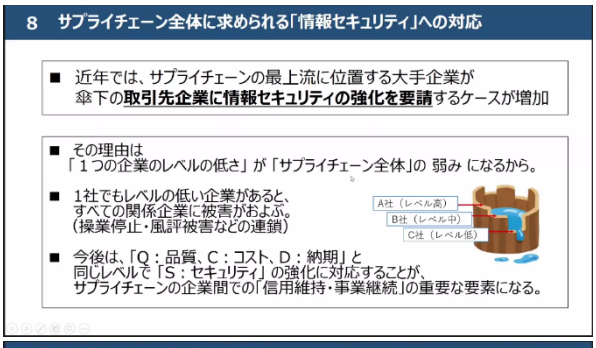
近年、デジタル化の進展に伴って、サイバー攻撃による工場の操業停止や個人情報の流出などの被害が急増しており、企業におけるサイバーセキュリティを含む情報セキュリティ対策の強化が急務となっています。

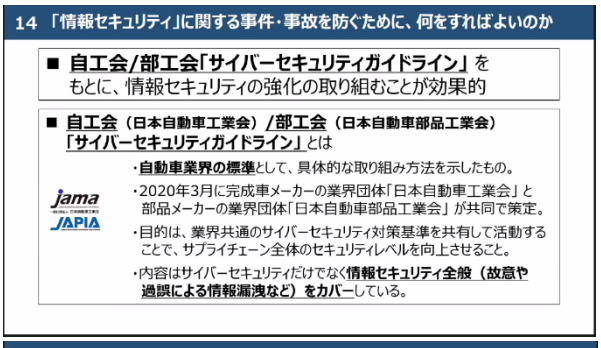
このような状況の中、2020年３月に「日本自動車工業会」と「日本自動車部品工業会」が共同で、自動車業界全体の標準・指針となる「サイバーセキュリティガイドライン」を策定しました。

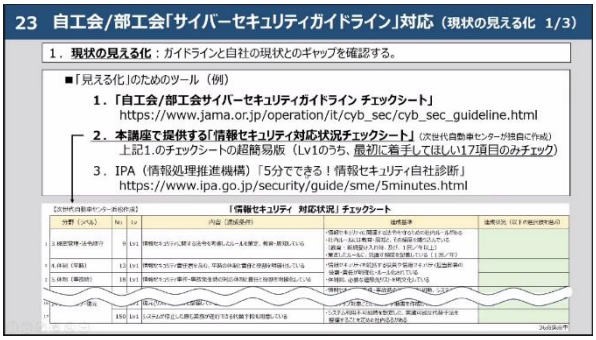
次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が、自工会／部工会「サイバーセキュリティガイドライン」をもとに情報セキュリティ対策に取り組んでいただくよう、当センターの仲元技術コーディネーターが講師となって、情報セキュリティの強化に取り組む際の考え方や具体的な取り組みの進め方などについての基礎的な情報を提供する講座を開催しました。

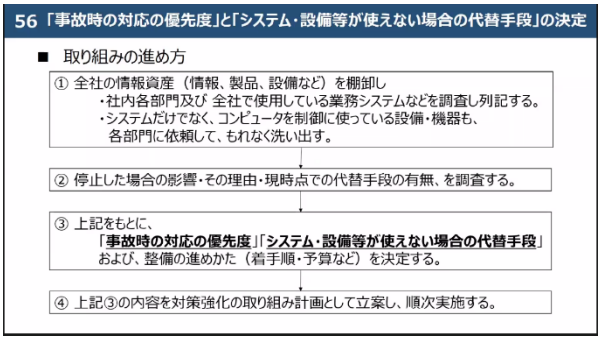
■日　時　：　令和６年１０月１６日（水）13時30分～15時
■場　所　：　Ｗｅｂ形式
■参加者　：　４９社／２３０名











【参加者の声】

・自工会チェックシートの中でもさらに絞り込んだ最初の一歩のチェックシートなどは、実戦的で非常に参考になった。
・具体的な進め方がわかった。特に詳細なルール（セキュリティ規程）について、どのような項目を盛り込んでよいのかわからなかった部分が明確になった。
・費用を掛けずにできる対策の紹介が大変参考になった。仕組み作りとインシデント発生時の訓練を早急に行っていこうと思った。
・サイバーセキュリティを強化していく目的と手順・注意事項等を丁寧に説明いただき、サイバーセキュリティの今後の重要性を改めて勉強させていただいたこと、情報資産（情報・製品・設備）の非常事態時の優先度決定の内容及び事業継続の為の代替手段の決定について、近年の「防御」から「回復力」の強化の重要性が大変参考になった。
・これまでにない切り口で、今すぐにでも取り組める内容が具体的に紹介され、大変勉強になった。情報セキュリティ対策の基本的な考え方、ルールづくり、体制づくりを認識することができた。
・自動車業界には、チェック項目が既に存在していることを学んだ。全く対策に着手していない中小企業は、チェック項目を全てクリアすることは非常に大変だと感じた。しかし、その分、自動車業界は、関係企業の隅々までセキュリティ面に対して厳しく対策を打つ必要があると改めて学んだ。
・情報セキュリティを守るためにはガチガチのルールを作ってはだめで、業務との兼ね合いも見ながら、策定・運用・改善が欠かせないと経営層に訴える内容だった。
・基本的なところを再度確認することができた。完璧な対策が無い中で、チェックシートで“完了”評価を判断するのが難しいと感じた。
・当社に抜けている箇所が明確になった。セキュリティ対策の考え方、進め方など基本がよくわかった。「守れないルールは作らない」など、大事な点だと感じた。
・ＱＣＤＳの概念を知ることができた。ルール運用の確認という点で監査などの具体的対応策や、規定において法令と行為をセットとするなど実務的な対応を知ることができた。
・Lv１の中の最低限実施すべき基礎的な項目について、丁寧に説明していただいたので参考になった。
・企業のセキュリティ対策の一環として、企業の価値・資産を守る活動としての「情報セキュリティ」について、わかりやすく体系化されていたことと、昨今のサイバー攻撃事例の知見が深まり、情報セキュリティに対する必要性を痛感した。また、会社としてどのように取り組むべきかの方向性も理解した。特にルール化の中の情報資産の管理は、部門内でも議論していきたい。
・現在のセキュリティリスクの状況や、攻撃を全て防ぐことは不可能なので、ウイルス対策と同じように代替手段の構築が必要不可欠であるとの考え方が参考になった。
・自工会チェックシートに基づいた自己評価は行っているが、ルールの作成方法について確認ができた。経営層や全社に対してセキュリティの重要性を訴求する参考になった。
・「自工会/部工会サイバーセキュリティガイドライン」は項目が多すぎるのと専門語や内容が理解しずらかったので、簡易的な「情報セキュリティ対応状況」チェックシートを使用するなど進め方が参考になった。
・情報セキュリティ、サイバーセキュリティについてガイドラインがあることは心強く、「防御力」だけでなく「回復力」も重要ということは学びになった。
・１つの企業のサーバーセキュリティへのレベルの低さが全体に影響を及ぼすことを改めて理解し、対策の重要性を学べた。